

かわべ

議会
だより



21名が新たに入団されました

東海・東南海地震の発生が心配される中、地域の自主防災組織の活動が、より重要です。消防団の皆さんご苦労様です。《川辺町消防団入退団式 4月4日 川辺中学校グラウンド》

平成16年5月20日



第99号

目次

- ◆総額83億6,103万円(16年度予算) 2~3
- ◆選挙管理委員・補充員の選挙 4
- ◆山楠公園再整備工事に着手(第1回臨時会) 5
- ◆一般質問 5氏が13項目を質問 6~11
- ◆議会活動・編集後記 12

16年第1回定例会

3月定例会

(3月9日～19日まで)

平成16年度予算総額

83億6,103万円

を議決

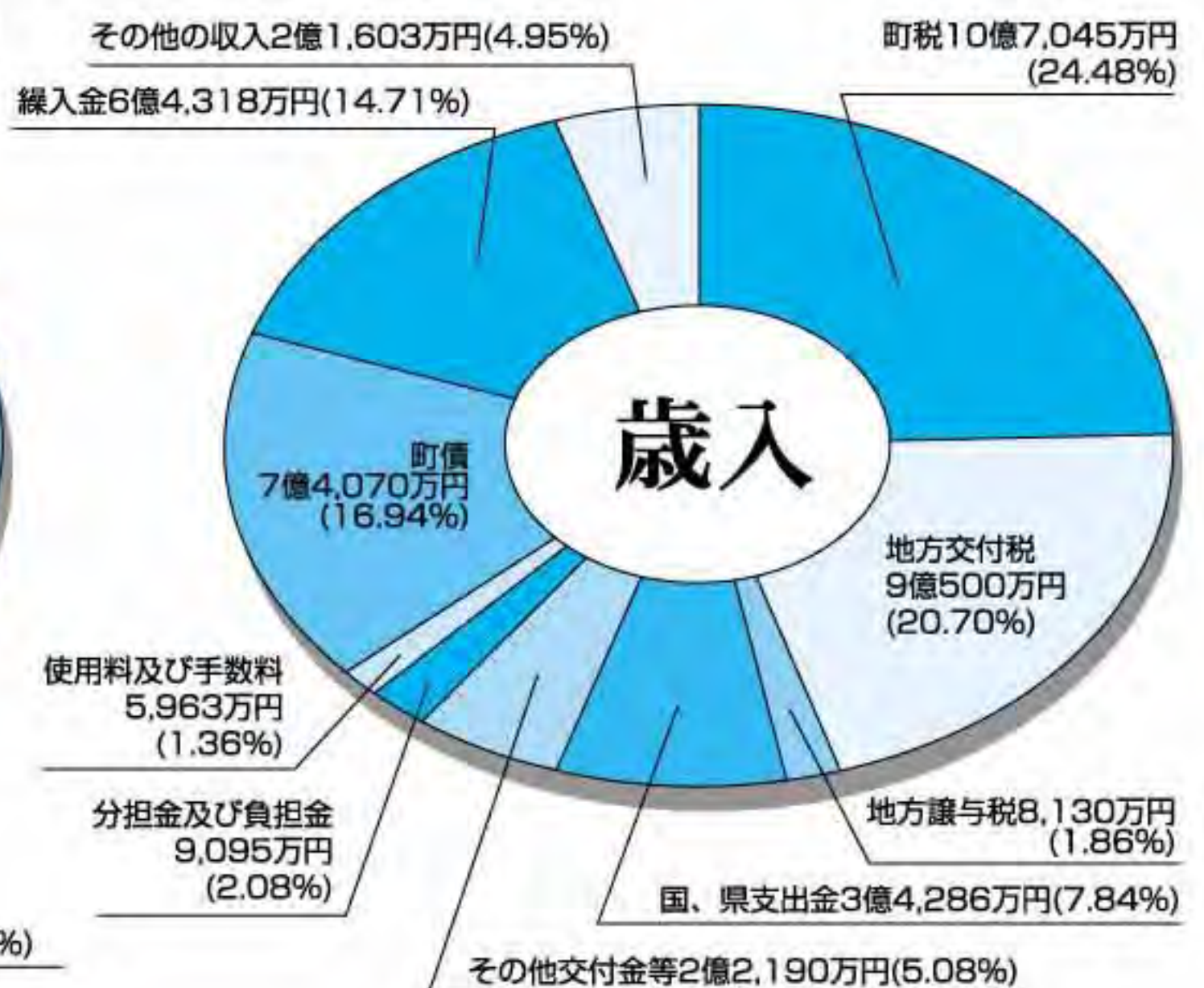
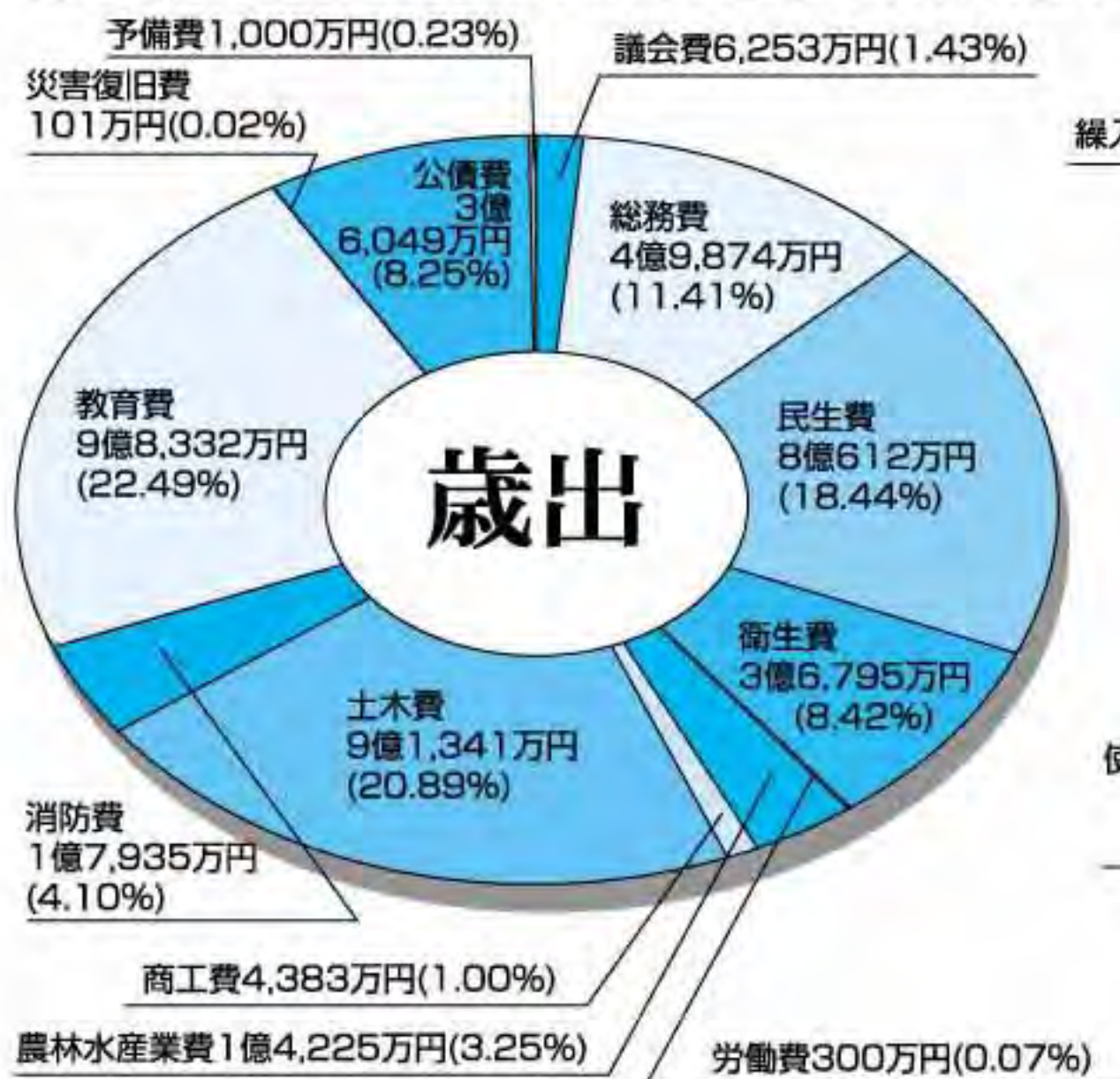
一般会計43億7,200万円(前年度に対して9.0%の増)
特別会計総額39億8,903万円

16年度の一般会計と7特別会計の予算を含め22議案を審議し、いずれも可決しました。

また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い8名の方を選出しました。

◆一般会計◆

町税2.05%の減、地方交付税7.18%減と厳しい財政事情の中、必要な事業を推進するため行政経費のより節減に努めるとともに、基金から5億9,300万円を繰り入れました。



◆ 歳 出 ◆

	主 な 事 業
議 会 費	議会運営経費 4,593万円
総 務 費	県知事、参議院議員選挙費 1,352万円、合併協議会負担金 355万円 地区集会場施設整備補助 1,175万円 路線価地域総合調査業務 458万円、チャイルドシート補助事業 40万円
民 生 費	障害者福祉対策 9,335万円、老人福祉対策 12,573万円、 児童福祉対策 27,582万円、福祉医療助成 6,739万円、 福祉バス購入費 812万円
衛 生 費	健診等老人保健対策 3,029万円、予防接種事業 1,064万円 母子保健対策 343万円、ごみ処理対策 11,407万円、 合併浄化槽設置補助 390万円
労 働 費	労働者生活資金融資事業 300万円
農林水産業費	水田農業構造改革（米の生産調整）429万円、農道整備事業 785万円 農業集落排水事業 3,139万円、有害鳥獣捕獲事業 109万円
商 工 費	町小口融資事業 2,003万円、川辺おどり協賛補助事業 400万円 ふれ愛まつり補助事業 350万円 商工会補助事業 650万円 商店街街路灯設置補助 600万円
土 木 費	川辺ダム湖周辺整備事業 17,281万円、山楠公園再整備事業 2,285万円、 道路新設改良事業 15,820万円、町道維持修繕費 12,984万円、 木造住宅耐震補強工事補助 60万円、山川橋整備基金積立金 5,000万円
消 防 費	比久見消防コミュニティセンター建設工事 1,788万円
教 育 費	中学校屋内運動場改築事業 60,546万円、図書室改築調査 850万円、 小学校盗難防止センサー設置 140万円、文化財調査事業 287万円、 文化講演会、芸術劇場開催事業 300万円、ナックルフォア艇購入費 683万円
公 債 費	町債の償還金

◆ 特別会計 ◆

	予 算 額		予 算 額
国民健康保険事業特別会計	8億3,600万円	農業集落排水事業特別会計	3,720万円
老人保健特別会計	10億6,000万円	介護保険特別会計	5億2,500万円
学校給食共同調理場特別会計	5,408万円	水道事業会計	4億5,055万円
下水道事業特別会計	10億2,620万円	特別会計合計	39億8,903万円

選挙管理委員会委員・補充員の選挙

定例会初日に4月25日で任期が満了する、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。

選挙の方法は、指名推薦により行い、全会一致で次の方を選出しました。

選挙管理委員

井戸 鎮正 氏

川辺町中川辺

山口 嶽 氏

川辺町下麻生

井戸 實 氏

川辺町鹿塩

馬場 清一 氏

川辺町下吉田

補充員

林 治男 氏

川辺町上川辺

齊藤 重嘉 氏

川辺町比久見

横山 良彦 氏

川辺町福島

櫻井 幸雄 氏

川辺町下川辺

4月26日の選挙管理委員会で、選挙管理委員長に井戸鎮正氏、同職務代理者に山口嶽氏が選出されました。

可決案件

▲川辺町内部組織設置条例の制定

地方自治法の改正により、役場の内部組織の設置及び分掌する事務について、条例で定めることになったため条例を制定しました。

▲議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

法の一部が改正されたことにより、町条例の罰則等についても改正をしました。

▲非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

選挙における期日前投票制度が創設されたことにより（今までは不在者投票）、期日前投票にかかる投票管理者・投票立会人の報酬を定めました。



選挙管理委員会（4月26日）

▲岐阜県市町村職員退職手当組合規約の一部改正
市町村合併による新市の誕生で構成市町村が変更されました。

▲15年度農業集落排水事業特別会計繰入金の変更
一般会計からの繰入金の額を465万1千円減額しました。

▲15年度下水道事業特別会計の繰入金の変更
一般会計からの繰入金の額を2806万1000円減額しました。

▲15年度一般会計補正予算（第6号）
歳入歳出それぞれ8112万2000円を減額しました。



国道41号バイパスに関連する再整備工事が始まった山楠公園(3月31日撮影)

主な内容

▲15年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
 ダム湖周辺整備事業、北部公民館建設事業の入札結果による工事費の減額をいたしました。

歳入歳出それぞれ16

26万3000円を増額しました。

主な内容

医療費の決算見込みにおいて不足が見込まれるため増額をいたしました。

▲15年度老人保健特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ18

77万5000円を増額しました。

主な内容

老人医療費の決算見込みにおいて不足が見込まれるため増額をいたしました。

▲15年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ26

主な内容

入札結果で建設事業費の減により一般会計からの繰入金を減額しました

▲15年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入で前年度繰越金の増により一般会計からの繰入金を減額しました。

▲15年度水道事業会計補正予算(第3号)

下水道工事にかかる水道管布設替工事費の減により減額しました。

第1回臨時会

平成16年第1回臨時会が2月12日開催され、提出された案件はすべて可決しました。

可決案件

▲山楠公園再整備工事請負契約の締結

契約金額
 1億8270万円
 請負業者
 川辺町上川辺1643
 佐伯総合建設株式会社

▲15年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ26
 4万8000円を増額しました。

▲工事請負変更契約の締結

ふるさと創生ダム湖周辺整備事業飛騨川左岸遊歩道新設工事
 変更前
 7560万円
 変更後
 8272万5300円

主な内容
 保育園の給食備品購入費、西小学校のトイレ改修費の増額をいたしました。

▲岐阜県市町村会館組合を組織する市町村数の増減

市町村合併による新市の誕生で構成市町村が変りました。

一般質問

聞きたい
そこが
知りたい

定例会の3月18日、5名の議員が質問に立ち13項目にわたり町政をただしました。
質問答弁の内容は次のとおり。



牧田富朗議員

公立高校の特色化
選抜入学試験制度
に対しての考えは

【牧田議員】14年度から、岐阜県の公立高等学校の入学試験は「一般選抜」に加え「特色化選抜」が導入された。この制度は合格が20%で大半が不合格となる。合格の基準もはつきりしない。大部分の生徒が高校入試を受ける現在、二重の受験となり精神的にも負担が大きく改善すべきである。学

校現場も困惑されているようである。教育長の考えを伺う。

効果が見られるまでには時間も必要

【加藤教育長】特色化選抜によって、「行ける学校から」「行きたい学校」へと高校入試のあり方が大きく変わったという見方もできる。

制度が導入されて3年目であるが、趣旨が理解され、定着し、効果が見られるまでにはある程度の時間も必要である。今後、制度についての問題点が明確になった場合は、改善に向けて関係機関に働きかけていく。

学校での鳥インフル
エンザ対策は

【牧田議員】現在鳥インフルエンザの問題が発生している。各小学校、保育所にウイルス感染防止のためどのように指導し、対策を実施しているのか尋ねる。

児童による飼育管理は停止している



小学校の動物小屋（川辺東小学校）

【加藤教育長】現在小学校で飼っている動物は、東小学校はニワトリ8羽、ウサギ25羽、西小学校はウサギ4羽、北小学校はウサギ10羽である。ニワトリのいる東小学校では問題が発生した時点で児童による飼育管理は即刻停止し、職員による管理を行っている。もし異常が発生した場合は早急に報告を受け関係機関の指導を受け適切な処置を執る体制を取っている。

特別養護老人ホーム
建設への支援は

また、鳥類以外の動物も異常があれば同様の対応をする。

【牧田議員】高齢化社会の到来で、特別養護老人ホームのニーズは高く、入所待機者も加茂郡市で850人ある。現在、町内の有志が「特別養護老人ホーム」の設立を示され、準備委員会を立ち上げられた。この計画を支援すべきであると思うが、町長の考えを聞きたい。

市町村合併もふまえて計画に盛り込めるよう努力する

【佐藤町長】特別養護老人ホームへの入所希望が高くなっているのは事実で、当町でも55人の方が入所申し込みをされている。今後においても、特別



上川辺の老人福祉施設(写真右建物 4月に開所したグループホーム)

養護老人ホームの必要性は高まるものと考えられるが、現在、進められている市町村合併もふまえて17年度の介護保険事業計画の見直し時に施設整備計画を盛り込むよう努力したい。



安田昌次議員

NPOやボランティアとの協働は

【安田議員】国の行財政改革の方針や現在の経済情勢では、地方財政を取り巻く環境は、益々厳しくなっていく。

現在進められている事業で官、民のすみ分けをすることによって行政の効率化を図らねばならない時期に来ている。そのため、NPOやボランティアとの協働事業も良策と考えるが、川辺町のNPO・ボランティアをどのくらい把握しているのか。また、その団体との連携はどのような状況であるのか。

一般行政分野においても協働を図っていききたい

【佐藤町長】国による地方への財政制度改革の影響で町財政は非常に厳しい。それに対して、求められる行政サービス量は、価値観の多様化や生活スタイルの変化、核家族化、少子高齢化など社会構造の変化で拡大傾向にある。このような社会の中でNPOやボランティアの行動力が注目される。

現在、町社会福祉協議会に登録のあるボランティア団体は22団体で構成員は376人であるが、登録していない団体も多くある。

町のイベントなどにおいては企画段階から住民参加により実施して来た。今後は一般行政分野においても十分住民参加の期待ができることから、ボランティア・NPOなど団体との協働も図っていききたい。

助役の町政に対しての方針・構想は

【安田議員】伊藤助役は就任されて6ヶ月を経過したが派遣に対する思いはどうか。

また、どのような業績を川辺町に残したいと考えるのか。

合併協議が順調に進めば新市になるが、それまでの間、町政に対してどのような方針あるいは構想で臨むのか。

全力で町長の補佐役を務めたい

【伊藤助役】派遣に対する思いは、職務を全うしていくことが重要であると考えている。

業績については、川辺町民の福祉の向上を図り将来にわたって元気な町であり続けるため、全力で佐藤町長の補佐役を務めていくことだと考える。

市町村合併については、将来の川辺町民にとって「夢ふくらむ」ものとなるよう、町長を先頭に職員一丸となって取り組んでいく。

児童生徒の安全対策は万全か

【安田議員】最近、特に児童・生徒に対する虐待や連れ回しなど凶悪な犯罪がおきている。可茂地域でも、登下校中の児童・生徒を狙った声かけや、かばんをつかまされたり、追いかけられたりする悪質なケースが相次いで発生している。

事件が起きてからでは遅いので安全対策について尋ねる。

- 1 町では同様な事件はないか。
- 2 教育委員会・学校での対策はどのようなか。



子どもたちの安全が第1 (川辺西小学校休み時間中の児童)

警戒を怠らないよ
う努めている

【加藤教育長】町では、現在のところ大事には至っていないが警戒を怠らないよう努めている。

対策の主なものとしては、地域安全マップの作成、危険箇所調査・啓発、学校での防犯教室、防犯ベルの配布、来訪者への案内看板、学校周辺通学路における街頭指導

及び安全パトロール、危機管理マニュアルの整備などである

また、こうした実践に相呼応して、中川辺の福寿会の方々が自主的に安全パトロールをされており誠にありがたいことである。このような活動が全町に広がり、町民の皆さんが子どもの安全を守っていただければありがたい。



佐伯陽子議員

学校トイレの
改修を

【佐伯議員】小中学校のトイレを最新のものを取り入れて、子どもたちがほっとする、ひとときの場所になるよう改修したかどうか。



学校トイレ(川辺中学校)

現在の財政状況で
は改修は困難

【加藤教育長】快適トイレは、児童・生徒の精神的安定に効果があることは十分承知しているが、全面改修となれば多額の財源が必要となる。財政状況が厳しい現在では困難である。

80歳成人式の
実施を

【佐伯議員】還暦(60歳)を生まれ変わりの0歳と見れば80歳はまさに20歳の成人である。今の青年達は成人式のことをあたら

りまえと知っているだろうが、80歳を迎えられる方は公での成人式は経験がないと思う。敬老会に併せて80歳成人式を実施したらどうか。

現時点では年齢限定の行事は考えていない

【佐藤町長】高齢者の方々を対象に、町も含めて町社会福祉協議会、福寿会、体育協会などそれぞれの団体で、様々な事業や行事が実施されている。そのことから、特に80歳という年齢を限定した行事は考えていない。町内の高齢者が「おしゃれで、元気で、いきいき」



敬老会(やすらぎの家15年9月)



下川辺がまじり橋交差点(国道41号線より)



櫻井真茂議員

を合い言葉に、「いつでも、誰でも、気軽に」参加できる各種事業を推進していく。

下川辺地内交差点の一方通行制限は事実か

【櫻井議員】下川辺の国道41号線と町道0101

号線がまじり橋交差点は事故が多いことから、国道から町道への右折を禁止し、一方通行にすると聞いたが、下川辺の森山組、下組の住民は国道から当交差点を右折し帰途されている。右折禁止となると、約2キロメートルの回り道となるが、その事実はどうか。

また、その問題を解消する東海環状自動車道側道の早期完成を望むが、工事の進捗状況はどうか。

4月から5月に一方通行の交通規制となる

【古川経営管理課長】当交差点の国道から町道へ右折する車に関する交通事故は、15年は9件、16年は2月までのわずか2

ヶ月で10件あり、急激に増加している。警察では、事故の防止・撲滅のため当交差点の国道からの右折禁止の交通規制を県公安委員会に申請し、4月から5月には認可されると聞いている。住民の皆さんには東海環状自動車道側道が完成しない状況で大変不便、ご迷惑をおかけしますが事情をご賢察のうえご理解・ご協力をいただきたい。

側道は6月から7月に工事発注される

【高井基盤整備課長】側道については、本年6月から7月に工事発注になる予定と国道事務所に確認している。町としては早期完成を強く要望していく。

【高井基盤整備課長】側道については、本年6月

から7月に工事発注になる予定と国道事務所に確認している。町としては早期完成を強く要望していく。

道路・休耕農地の枯れ草対策は

【櫻井議員】道路沿いや

休耕田の枯れ草が燃えた火災がたびたびある。岐阜市から各務原市にかけての山林火災のような大

火災にもなりかねない。対策はどのようにしているのか。



道路際の枯れ草(西栃井地内)

関係機関との連携を取り火災予防に努める

また、農業委員会からも休耕地の適正管理のお願いをしている。

【古川経営管理課長】休耕地については、本年2月に可茂消防川辺出張所で枯れ草の状況調査を行い、所有者の方へ枯れ草の除去の要請をすることになっている。

国道・県道については担当課から関係機関へ管理の徹底について要望したところである。今後関係機関、役場内部との連携をとり、火災予防のため努力していく。



転作田の大豆栽培

**米の生産調整目標
数値は達成できる
か**

【櫻井議員】国・県から16年度の米の生産調整目標数値が割り当てられてきているが、下川辺の改良組合が十数年来行ってきた、団地化減反を自由化することになった。そのことにより、目標数値を100%達成できるか。

**達成は厳しい状況
である**

【日下部産業環境課長】16年度の町の生産調整面積は64・8ヘクタールほどで、現在、改良組合長さんに予備調査の取りまとめをお願いしているが、目標達成は厳しい状況下であると考えます。農業者の皆さんには本事業の趣旨をご理解いただけるよう努めていきたい。

**町税の滞納者への
対応は**

【櫻井議員】納税は国民の義務であり、その税金で国・地方は成り立っている。町税の滞納額はどれほどか。
また、滞納者への対応はどのようにしているのか。

**税務課一丸となっ
て取り組んでいく**

【村山税務課長】税の滞納額は、16年2月末現在で6973万円で、総延べ人数は241人である。滞納者の形態は、電話催告、臨戸催告などで概ね把握しているが、近年の経済事情による企業の業績不振や倒産、リストラによる収入減、外国人の帰国者、無謀な資金計画による多重債務などがある。滞納者への催告書は年3回の発送、電話での催告、自宅訪問、分納計画書の徴収及び履行の請求、国民健康保険税においては、短期被保険者証活用による滞納者への接触機会の確保及び納税意識の高揚を図っている。また、悪質の場合は、勤務先への訪問も実施している。滞納額の減少には、税務課一丸となって取り組んでいく。



大脇久男議員

**新年度予算編成と
合併協議に対する
所信は**

【大脇議員】町長は就任以来、各地区で町長と語る会を開催し、合併協議はもちろんのこと、町民の生の声を聞き「夢ふく

らむ元気なまちづくり」を語ってこられたが、どの程度実現できたか。また、16年度予算編成において三位一体改革等、国の行財政改革による大幅な歳入減の中、町民の要望がかなえられる予算編成ができたかと自負できるか。

当町は健全財政を維持してきたが、16年度末基金残高、起債残高見込みにおいて、胸を張って合併に望めるのか。



一部完成した左岸遊歩道(比久見地内)

一般質問



議員による市町村合併に関する協議を重ねています

第三保育所を始め公営住宅、ダム湖左岸遊歩道、北部公民館、地域の消防コミュニティセンターなど数々の大型建設事業に努力し取り組んでこられたが、実施してきた事業の投資的効果に一糸の迷い、不安はないか。

他の市町村で合併前の駆け込みと思える事業予算が発表されているが、当町の中学校屋内運動場改築事業は駆け込み事業で紳士協定違反にならないか。

議員との合併にかかる議員定数の論議のなか、議員定数34人の問題で合併協議が白紙になることについて否定的な意見であったが真意であるか。議員定数、都市計画税の18年度賦課の問題に対するの考えは。

以上、町民、職員に対しても町長の真意と方向性を聞きたい。

真に必要な施策を採り入れた。残る合併協議項目は、より慎重に対応する。

【佐藤町長】「夢ふくらむ元気なまちづくり」はまちづくりへの思いであり、小さな町であっても町民みんなが明るく希望に満ちあふれている夢の持てるまちづくり事業を行いたいと考えている。少子高齢化問題、文化教育、生活基盤整備、環境問題など多種多様な課題に取り組んできた。皆さんの協力があって、就任以来、ダム湖左岸整備を始めとする基盤整備から少子化対策の一つとしての幼児医療費無料化など新規事業を手がけることができた。夢がどれだけ実現できたかは一概に言うのは難しいが、精一杯努力してきたつもりであり、一步一步実現に向けて進んできた感はある。16年度予算編成に当た

っては、国の財政制度改革により歳入が大きく減少する中、次の世代のために「何を残してやれるか」、「何を残すべきか」が重要で、真に必要な施策を積極的に採り上げることがを基本に、市町村合併になったときは、新市へスムーズに移行できる行財政構造の構築を図りながら取り組んだ。川辺中学校屋内運動場が新年度の一つの主要事業となつているが、歳入が不足することがあつてもこれだけという思いで計画したもので、決して駆け込み事業でないことは皆さんも十分承知のことと思つている。

基金については、合併時の16年度末では、積立金額12億9000万円が残ると見込んでおり、特に予定外の借り入れもしておらず、基金、起債を含む財政状況において、決して合併に向けて肩身が狭いという思いはない。合併後の議員定数については、美濃加茂市の34人の主張に妥協したわけではない。真意は、協議はねばり強く続けていくべきであり、互いの主張が異なるからといって協議の席をすぐ立つてしまわず、何とか着地点を探れないかと考えて発言したものである。

議 会 活 動

現在、地域や町で課題となっている事業施設を見学し、議員として必要な情報の収集及び知識の向上を図るとともに、その知識を町行政に生かすため議員全員で視察をしました。



廃プラスチック再処理施設工場の見学
(岐清協リサイクルセンター 輪之内町)

愛・地球博 国際博覧会会場建設現場視察で事業概要の説明を聞く
(愛知県長久手町)



お詫び
2月19日発行の議会だより第98号、一般質問櫻井常雄議員(9ページ)の質問の回答記事で、答

弁の内容と小見出しに誤りがあり、ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

議会報編集委員



川辺中学校体育館改築に向けて、八百津中学校、白川中学校体育館を視察。(白川中体育館)

編集後記

美濃加茂市・加茂郡の合併協議が正念場をむかえました。

問題点として

- ・都市計画税の賦課(固定資産税の約2割)
- ・福祉バスは廃止。自主運行バスで有料化。
- ・議員定数は、定数特例48人又は法定定数34人に。34人になれば加茂郡で13人。川辺は2〜3人か。
- ・大半の協議項目は、編入合併のため現美濃加茂市の制度に統一。

議会での一般質問は年4回の定例会で行われ、町行政全般にわたり政策論戦の場として行政側に緊張感と積極性を求めています。3月議会の初日、川辺北小学校6年生が議会を傍聴してくれました。3月議会の傍聴者は北小学校児童を含めて延べ42人でした。皆さんもお気軽にお越しください。

M